



安全上の注意

	ご注意 感電の危険があります	
<p>ご注意: 感電の危険を避けるため、本装置を雨や水分にさらさないでください。 必ずラベルに表示されている電源に接続して本装置を操作してください。 当社は当製品の使用によって生じた損害に対して、仮にその損害の可能性を指摘されていた場合でも一切責任は負いかねます。</p>		

正三角形の中に稲妻形の矢印があるマークは、製品内部の絶縁されていない箇所に“危険な電圧”が存在しており、人体に感電をもたらすほどの数値であることを警告するものです。



正三角形の中に感嘆符があるマークは、装置付属の文書内に重要な操作またはお手入れ(修理)に関するユーザーへの注意事項があることを示しています。



- *雷が鳴った時本体、同軸ケーブルや電源プラグなどには触れないでください。感電の原因となります。
- *湿気やほこりの多い場所に置かないでください。*強い光の当たる場所と熱器具に近づけないでください。
- *調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気、水滴が当たるような場所に置かないでください。
- *周囲の温度が高い場合もしくは湿度が高い場合、温度が下がった際に内部で結露することがありますのでご注意ください。(操作の温度範囲 0° C~40° C)。
- *導電性の物質に近づけないでください。
- *接続する際、システムに電源を入れしないでください。
- *ケーブルの距離を十分に確保してください。
- *ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
- *テレビ、ラジオなどの電気製品に近づけないでください。感電の原因となります。
- *この機器を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。
- *電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしたりしないでください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。(コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますので注意してください。)
- *電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災、感電の原因となります。

目次

1	仕様	
1.1	基本仕様	4
1.2	フロントパネル	5
1.3	リアパネル	6
1.4	リモコン	6
2	一般操作	7
2.1	ログイン	7
2.2	ライブ映像	8
2.2.1	一般操作	8
2.3	検索と再生操作	11
2.3.1	基本操作	11
2.3.2	カレンダー	12
2.3.3	検索操作	12
2.3.3.1	時間検索	12
2.3.3.2	チャンネル検索	13
2.3.3.3	イベント検索	13
2.3.4	再生操作	14
3	PTZ コントロール	15
4	バックアップ	16
5	EXPORT PLAYER	17
5.1	ダウンロード	17
5.2	プログラムを PC にインストール	17
6	システムセットアップ画面	19
6.1	カメラ	19
6.1.1	設定	20
6.1.2	録画設定	26
6.1.3	スケジュール設定	27
6.2	ネットワーク	28
6.2.1	ネットワーク設定	28
6.2.2	通知	31

6.3	アラーム設定	32
6.3.1	アラーム入力設定	32
6.3.2	異常処理	33
6.4	システム設定	34
6.4.1	デバイス設定	34
6.4.2	ユーザー設定	35
6.4.3	日付設定	36
6.4.4	表示	39
6.4.5	HDD	43
6.4.6	その他	45
6.4.7	設定	47
6.5	情報	48
6.5.1	一般設定	48
6.5.2	ログ	49
7	WEB VIEWER 操作	50
7.1	DVR に接続する	50
7.2	ログイン	50
7.3	遠隔ライブ映像	52
7.4	リモート検索&再生	55
7.4.1	時間検索	55
7.4.2	チャンネル検索	56
7.4.3	イベント検索	57
7.4.4	Web Viewer 再生操作	58
7.4.5	Web Viewer 設定メニュー	59
7.4.6	遠隔バックアップ	60
7.4.7	遠隔 PTZ 操作	61
8	スマートフォンでの遠隔監視 iOS & ANDROID	63
8.1	アンドロイドシステム	63
8.2	iOSシステム	68

1 仕様

1.1 基本仕様

システム	
操作システム	Linux
操作	ライブ、録画、再生、バックアップ&遠隔操作
コントロールモード	USB マウス、WEB ページ
映像	
圧縮	4x1080p30 H.264 HP/MP/BP
音声	
入力	4 x RCAJ
出力	1 x RCAJ
音声	有
表示	
表示	全画面/分割画面/PIP/シーケンス
出力	1x HDMI(1920x1080p60),1xVGA(最大1920x1080, 60Hz)
シーケンス	有
OSD	GUI
録画	
録画	連続録画,スケジュール,アラーム,モーション
録画フレーム	120 fps Full HD(1920x1080)
アラーム前録画機能	0~5 秒
ポスト録画	0~255 秒
再生 & バックアップ	
表示	全画面/分割画面
再生	再生/一時停止/早送り/巻き戻し
検索	日付検索、アラーム検索
バックアップ	USB/Web
スマートホン/ PC	iOS, Android
HDD	2xHDD
外部 HDD	無
ネットワーク	
プロトコル	TCP/IP,SMTP,DHCP,DDNS,PPPoE,UDP,SSL,RTP,RTSP,NTP
イーサネット	1x10/100/1000Mbps

I/O	
USB	2箇所 ; 2×フロントパネル
アラーム	4 入力/ 1 出力
RS485	Pelco D, Pelco P
セキュリティ	
ウォーターマーク	有
ユーザー権限	3 レベルユーザーアクセス
環境	
電源	DC12V
動作温度	0° C ~ 40° C
重量	2.5Kg

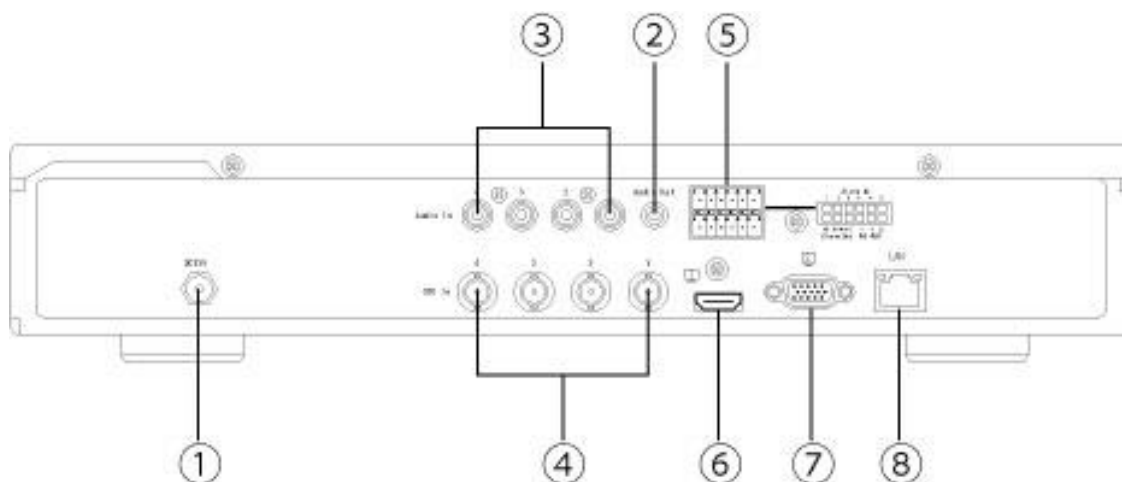
注)仕様は余儀なく変更されることがあります。

1.2 フロントパネル



1. 電源スイッチ
2. 状態表示 LED
 - HDD : システムが HDD にアクセス中に点灯します
 - Alarm : アラーム検出時点灯します
 - Status : フルディスク・ディスクエラー・HDD が認識できない・ネットワークの切断・違法ログイン・ディスクが異常温度に達した・ファンの故障・ネットワーク障害などが生じた時点灯します
 - REC : 録画中点灯します
 - HDD : システムが HDD にアクセス中に点灯します
 - LAN : ネットワークにアクセス中点灯します
3. CH1~CH4 : 各チャンネルにカメラが接続されると表示します
4. USB port - USB マウス、USB メモリーもしくは USB デバイスを接続できます

1.3 リアパネル



- (1) Power : 電源接続プラグ
- (2) Audio IN : 音声出力端子
- (3) Audio Out : 音声1~4チャンネル音声入力端子
- (4) SDI In : カメラ1~4チャンネル HD-SDI カメラ入力
- (5) Alarm In : アラーム入力端子
Alarm Out : アラーム出力端子
RS485 : Pan/Tilt/Zoom の RS485 接続ポート
- (6) HDMI : HDMI 出力端子
- (7) VGA: 出力端子
- (8) LAN: RJ-45 ネットワーク接続端子

※本製品には TV への AV 出力がありません

VGA 又は HDMI 端子の付いたモニターを使用してください


1.4 リモコン

本製品にリモコンは付属しません

2 一般操作

2.1 ログイン

ユーザー認証が有効になっている場合、起動後マウスの左クリックにてログイン画面が表示します。

{  →デバイス(システム)→ログイン認証を有効にする→ON/OFF }




システムにログオンするには、あらかじめ入力されたユーザーアカウントとパスワードを入力ください。仮想キーボードを表示するには、ユーザーもしくはパスワード欄をクリックしてください。



初期ユーザー名とパスワードは、

管理者	: admin/admin
オペレーター	: operator/operator
ゲスト	: guest/guest

自動ログアウトが有効になっている場合、設定された時間後にログアウトします。

{  →デバイス(システム)→ログイン認証を有効にする→ON→自動的にログアウト
→オフ/1分/5分/30分/60分 }

ユーザーレベルによって権限を制御できます。

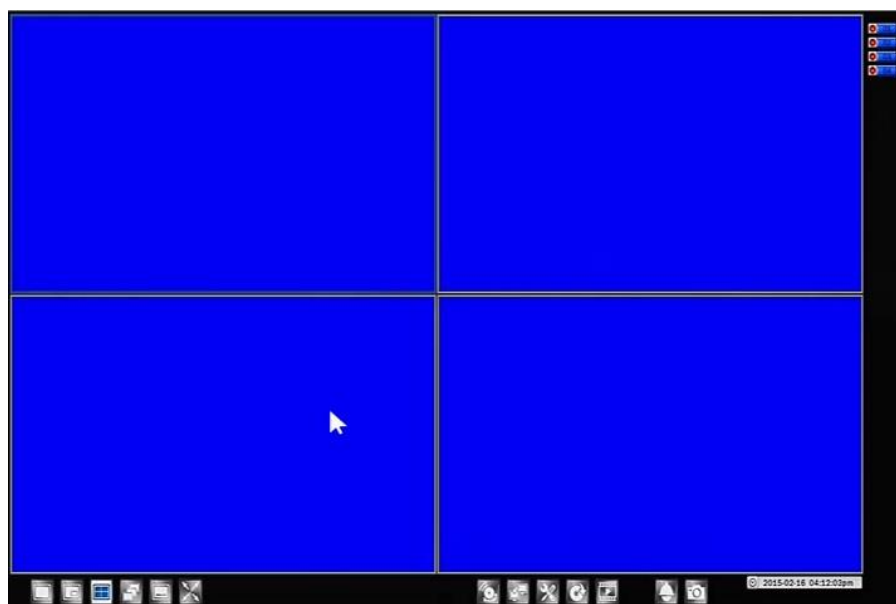
権限は3種類製作可能です。

	管理者	オペレーター	ゲスト
ライブ画面	有効	有効	有効
OSD	有効	有効	有効
Live Multiple-up	有効	有効	有効
ズーム	有効	有効	有効
Pan/Tilt/Zoom (PTZ)	有効	有効	無効
再生	有効	有効	無効
バックアップ	有効	有効	無効
アラームの認知	有効	有効	無効
設定	有効	無効	無効

2.2 ライブ画面

2.2.1 一般操作

DVR は、ログイン後、ライブ画面モードに入ります。
フル画面を表示する時は、任意のチャンネル画面を左ダブルクリックします。
再度、左ダブルクリックで分割画面に戻ります。
マウスを使用することを推奨します。



基本的な操作アイコンはメイン画面に表示されています。

(A) システム表示、チャンネルの選択、音声出力

システム表示は、各入力チャンネルの状態が表示されています。



(1) ボタンの色は、各チャンネルの状態を表しています。

白 - 正常,映像が入力され有効になっています。

灰 - 映像信号は no になっています。

青 - 映像入力がありません

黄 - モーションを検知しています

赤 - アラームを検知しています

(2) 録画状態表示

赤 - 録画中

白 - 録画していません

(3) 音声出力選択

各チャンネルの音声のアイコンをクリックすると、音声出力が選択したチャンネルに切り替わります。

(4) 4画面のカメラ位置を変更することができます。例えば、右上の分割画面をカメラ2にするのであれば、左上の位置でマウスの左クリックを1回押し、システム表示アイコンの 02 を押すことで変更が可能です。

(B) 表示モードコントロール :



1画面表示モード



PIP表示モード



4画面表示モード



シーケンス画面表示モード



OSD表示 ON/OFF



全画面表示

(C) 機能コントロール



アラーム確認 : アラーム検知後、ブザーを止める時押します



コールモニター : コールモニターの設定画面が表示されます



セットアップ画面表示が表示します



バックアップメニューを表示します



検索と再生モードを表示します



フル画面モード時、デジタルズームを有効にしますマウスの左ボタンをクリックしズームをしたい範囲をドラッグするとズームアップされます。
(フル画面モード以外では表示されません)



PTZ 操作パネルが表示します




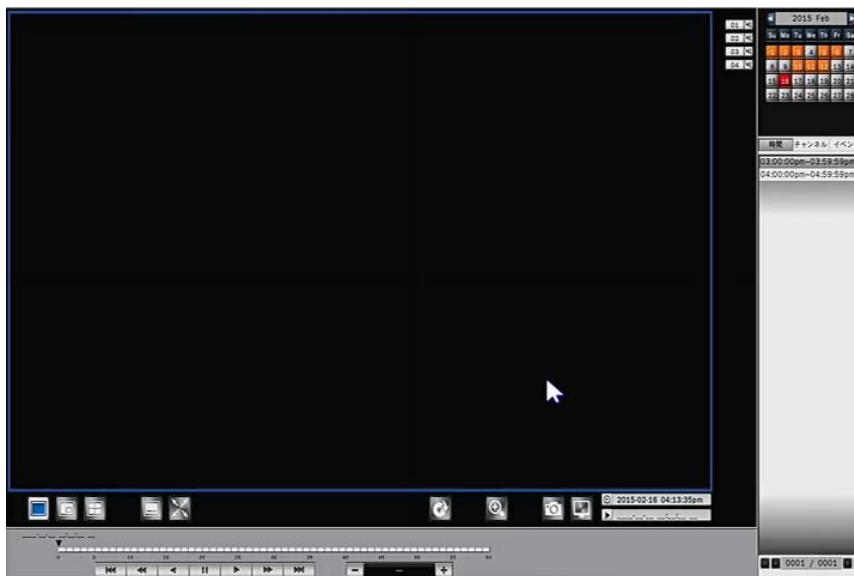
ログアウトします

(ログイン認証をオン時に表示します)

2.3 検索・再生操作

2.3.1 基本操作

メイン画面上の  再生ボタンを押すと下記の画面が表示されます



表示モード操作はライブ画面と同じです



バックアップメニューを表示します



フル画面モード時、デジタルズームを有効にします。マウスの左ボタンをクリックしズームをしたい範囲をドラッグするとズームアップされます



ライブ画面に移行します



選択した映像をスナップショットします

2.3.2 カレンダー

スクリーン上のカレンダーは、HDD の録画データの有無を表示します
橙色表示箇所には、録画データが存在します。赤色表示は現在検索中の日付を表示しています。検索したい日付を押すことで見たいデータを検索できます



2.3.3 検索操作

カレンダーの下に、「時間」、「チャンネル」、「イベント」で検索録画リストが列記されています。検索の種類を選択の上選択したファイルをダブルクリックすることで映像を確認することができます。

2.3.3.1 時間検索



時間検索を選択し、選択された日付のすべての映像ファイルがリストに表示されています。各ファイルには、最大60分の映像ファイルが含まれています。再生したい時間帯をダブルクリックすることで映像が再生されます。

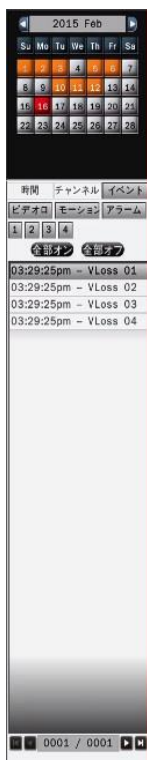
2.3.3.2 チャンネル検索

検索を希望するチャンネルを選択します。選択された日付、チャンネルのすべてのイベントの映像ファイルがリストに表示されます。再生したい時間帯をダブルクリックすることで映像が再生されます。



2.3.3.3 イベント検索

各イベントタイプとチャンネルによって映像を検索できます。選択されたイベントタイプ及びチャンネルのすべてのイベントの映像ファイルがリストに表示されます。再生したい時間帯をダブルクリックすることで映像が再生されます。



2.3.4 再生操作



時間帯バーは、現在の再生状態とタイムラインが表示されます。再生に選択されたタイムラインに移動するために時間帯バー上の時間インジケータをドラッグします。表示されている時間は、現在の再生区間の初めと終わりの時間を示しています。



再生



一時停止



巻き戻し



早送ボタンを押した後   で再生スピードの調整ができます。

(x0.25, x0.5, x1, x2, x4 , x8.)



次のファイルに進む



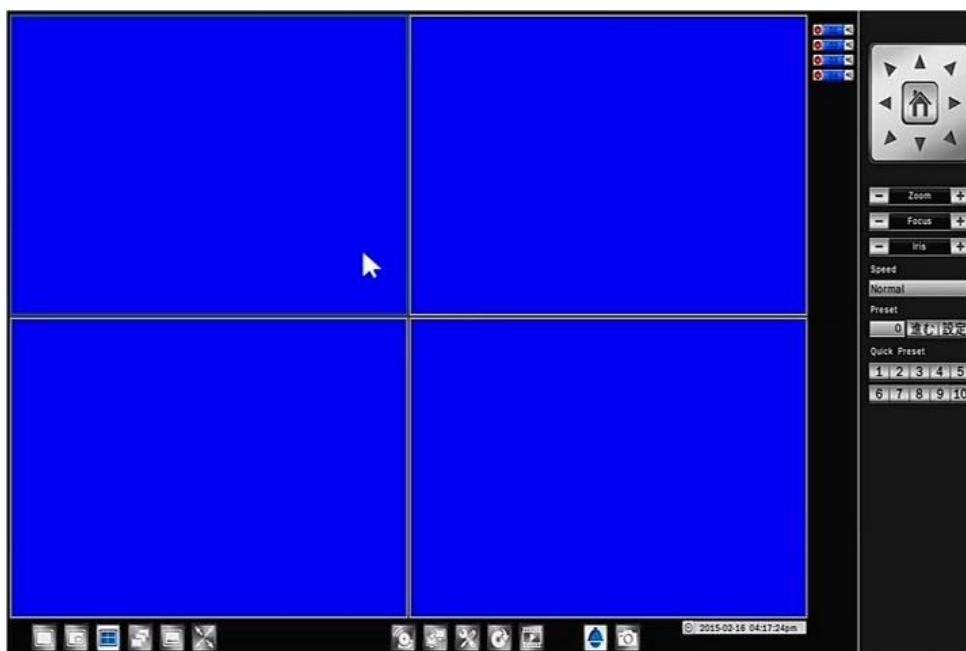
早戻しボタンで再生スピードの調整ができます。

(x0.25, x0.5, x1, x2, x4 , x8.)



前のファイルに戻る

3 PTZ コントロール



ボタンを押すと上記の PTZ 操作画面が出ます。PTZ できるカメラを接続時操作可能になります

- 8 方向 pan/tilt 操作: pan/tilt のできる PTZ カメラを操作できます (上/下/右/左/右上/左上/右下/左下)
- Zoom + / - : ズームアウト/ズームインの操作ができます
- Focus + / - : ピント調整 遠/近 の操作ができます
- Iris + / - : 露出調整ができます
- Speed : pan/tilt カメラのスピードを5段階で調整できます (Lowest/Low/normal/High/Highest)
- Preset: Preset 番号を打ち込み設定ボタンで PTZ カメラの撮影位置を設定できます
- 進む : 設定した Preset の場所に動きます
- Quick Preset 1-10 : 1-10 に設定した位置に動きます

4 バックアップ (Export)




を押すとバックアップ(Export)メニューが表示されます



バックアップ操作を行う前に、USB ポートに外部記憶装置を接続してください

- 開始時間: 日付/時間をクリックすると、カレンダーが表示されます。開始する日および時間を設定してください
- Record Duration: 記録したいデータ期間を指定します
- Channel: バックアップするチャンネルを指定します

録画データリストが表示します。データサイズの合計と使用可能な外部記憶装置のサイズがリストの下に表示されます。

 アイコンをクリックして記録パスを選びます。「フォルダー作成」を押し、フォルダーを作成後、[スタート]ボタンをクリックしバックアップ処理を実行します


再生には、「Export Player」が必要です。インストールされていない場合、「Export Player」を押しダウンロードしてください。

5 Export Player

Export Player は、PC 上で DVR または WEB ビューアからバックアップした映像を見ることができます。再生は、Player を起動させ、リストから、データを選択してください。

5.1 ダウンロード

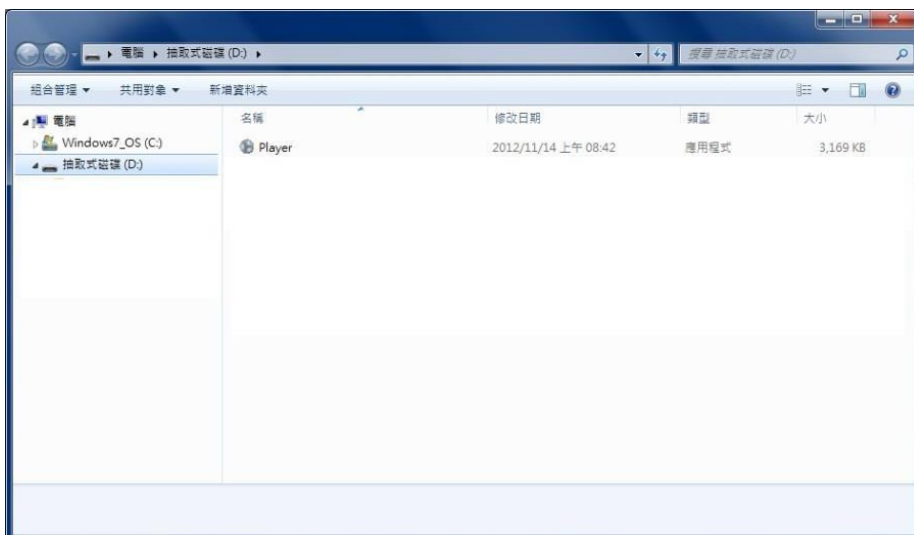
Export Player は、DVR または WEB ビューアからダウンロードできます。

DVR 上のインストールは、 を押し Export メニューを表示し、外部記録装置例えば、USB メモリーなどを USB ポートに差し込むと「Export Player」ボタンが表示されますのでクリックします。USB メモリーにプログラムがダウンロードされます。

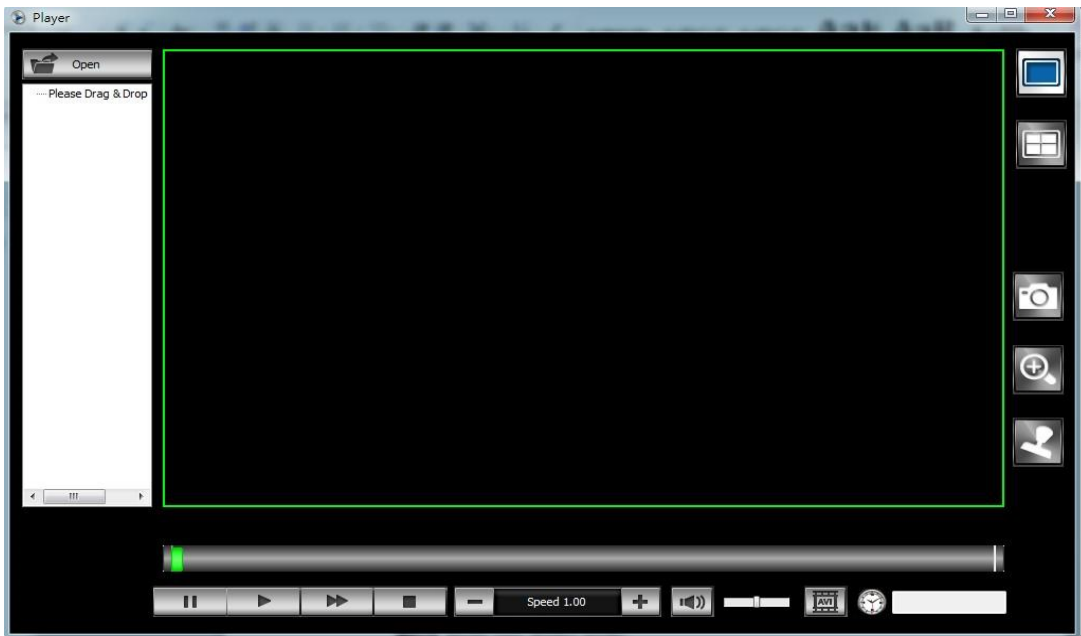


5.2 プログラムを PC にインストール

USB メモリー上の Player.exe ファイルをダブルクリックする



下記のような再生プレーヤーが表示されます



Open ボタンを押すと、ファイルを開くとフォルダーがポップアップします。

バックアップしたファイルを選択し、「開く」をクリックします。

プレーヤーは、自動的に再生を開始します

補足:プレーヤーは、同時刻内にある複数のチャンネルを再生することができます



1画面モード



4画面モード



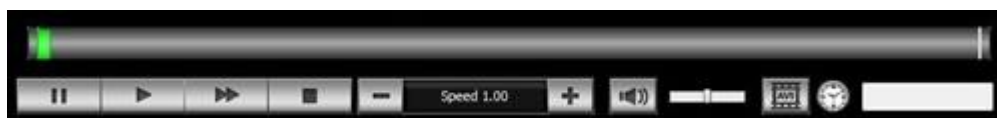
フル画面モード時、デジタルズームを有効にします。マウスの左ボタンをクリックしズームをしたい範囲をドラッグするとズームアップされます



選択した映像をスナップショットします



ウォーターマークを設定できます



再生ツールバーは、現在の再生状態とタイムラインが表示されます。

時間ラインをドラックすることで時間指定した画像が再生できます。



再生



一時停止



早送ボタンを押した後   で再生スピードの調整ができます。

(x0.25, x0.5, x1, x2, x4 , x8.)



停止



音声の再生の ON/OFF をクリックします。音量を調整用スライダーで音量調整が可能です。再生チャンネルの選択も可能です。

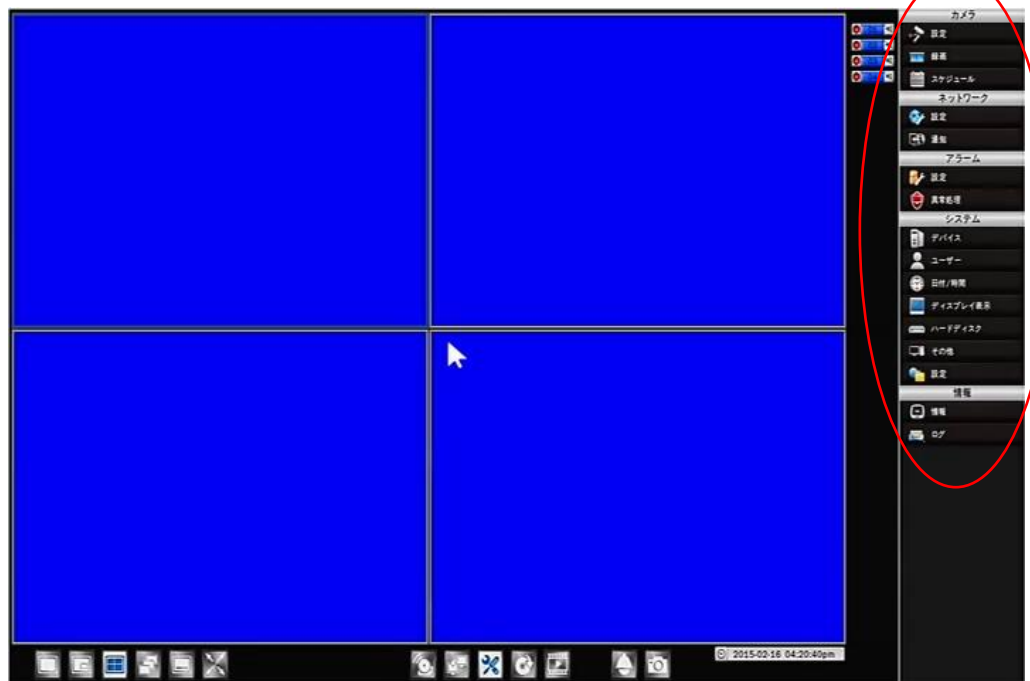


選択されたチャンネルの映像ファイルをAVIに変換できます。

6 システムセットアップ画面



をクリックすると、下記のシステムセットアップ画面が表示されます。



6.1 カメラ

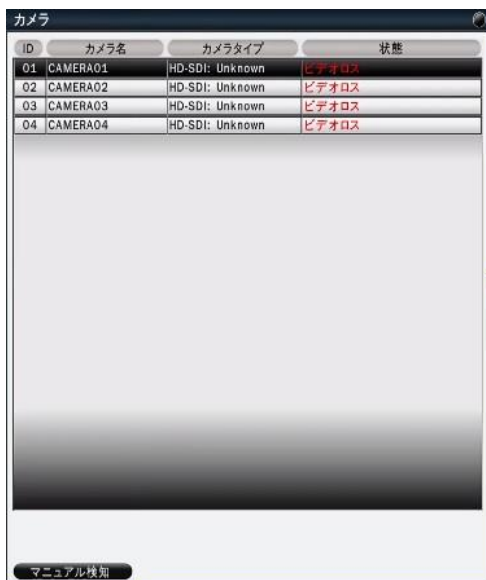
カメラおよび関連の設定をします。

6.1.1 設定

現在接続されたカメラの状態を表示します。

(カメラタイトル、カメラのタイプおよびその状態)

カメラの設定を変更する場合、まず、左下にある「マニュアル検知」ボタンを押し、再取込を行うことを推奨します。

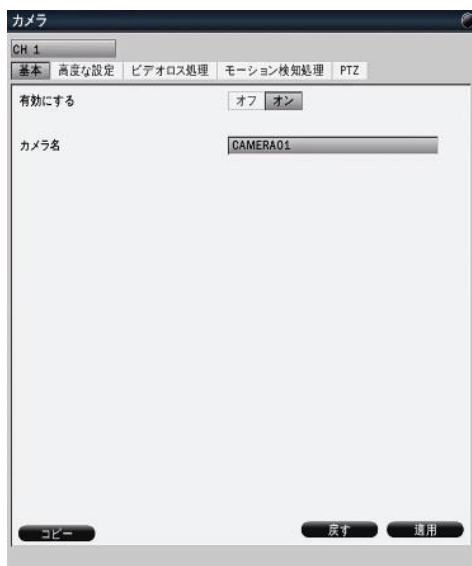


ID	カメラ名	カメラタイプ	状態
01	CAMERA01	HD-SDI: Unknown	ビデオロス
02	CAMERA02	HD-SDI: Unknown	ビデオロス
03	CAMERA03	HD-SDI: Unknown	ビデオロス
04	CAMERA04	HD-SDI: Unknown	ビデオロス

マニュアル検知

各カメラの詳細設定は、マウスを変更したいカメラを直接ダブルクリックすることで下記画面が表示され変更可能になります。

6.1.1.1 基本設定



- 有効 - : 「録画する」有効・無効が設定できます。
(注意: 録画無効の場合、選択されたチャンネルの録画がされません。)
- カメラ名: カメラの名前を変更できます。変更欄をクリックすると仮想キーボードがポップアップされます。
- コピー: クリックし他のカメラに設定をコピーできます。

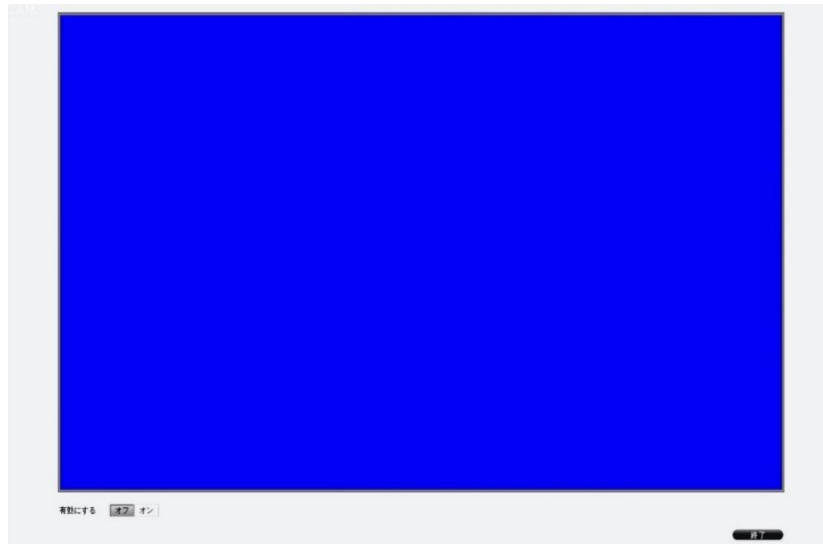
適用を押すことで保存されます。

6.1.1.2 高度な設定

プライバシーマスクおよびモーション検知の設定ができます。

6.1.1.2.1 プライバシーマスク設定

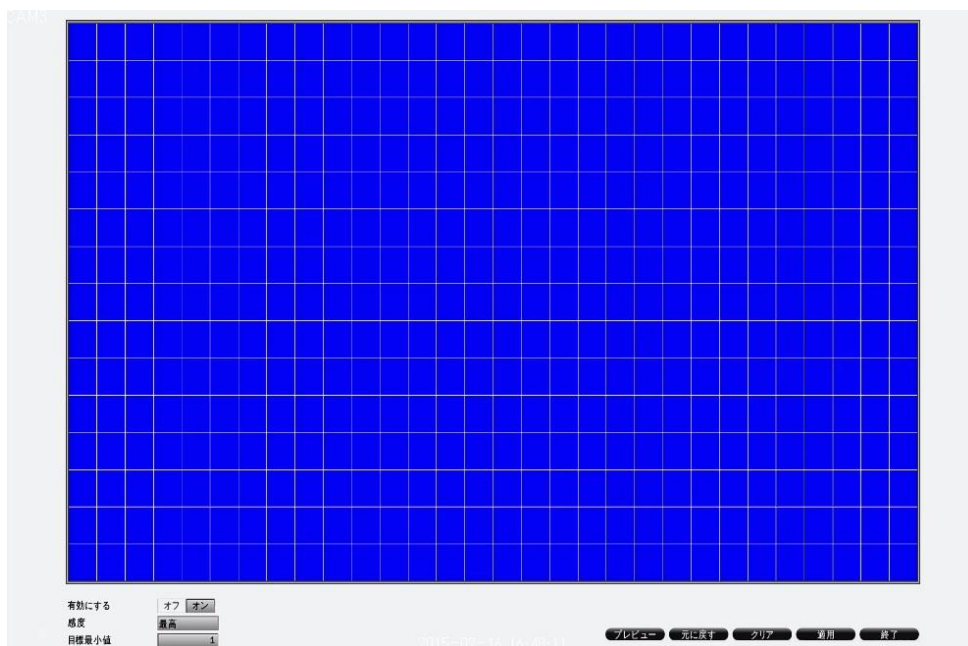
プライバシーマスクの設定ボタンを押すと下記設定画面が表示します。



- ・有効にする : 選択されたチャンネルのプライバシーマスクの ON/OFF ができます。
マウスをドラッグしマスクしたいエリアを選択します。
元に戻す : 選択したエリアを元に戻します。
クリア : すべてのエリアを削除します。
終了 : セットアップ画面に戻ります。

6.1.1.2.2 モーション検知設定

モーション検知の設定ボタンをクリックすると下記設定画面が表示されます。



モーション検知したい領域をマウスでドラッグし選択します。

- 有効 : モーション検知の有効・無効を選択します。
- 感度 : 感度を5段階で調整できます。
- 目標最小値 : 最小値の枠に動きがあると検知します

プレビュー : 現在の設定を確認します。

元に戻す : 設定を元に戻します。

クリア : 設定をクリアします。

適用 : 設定を保存します。

終了 : 設定を終了します。

6.1.1.3 ビデオロス処理

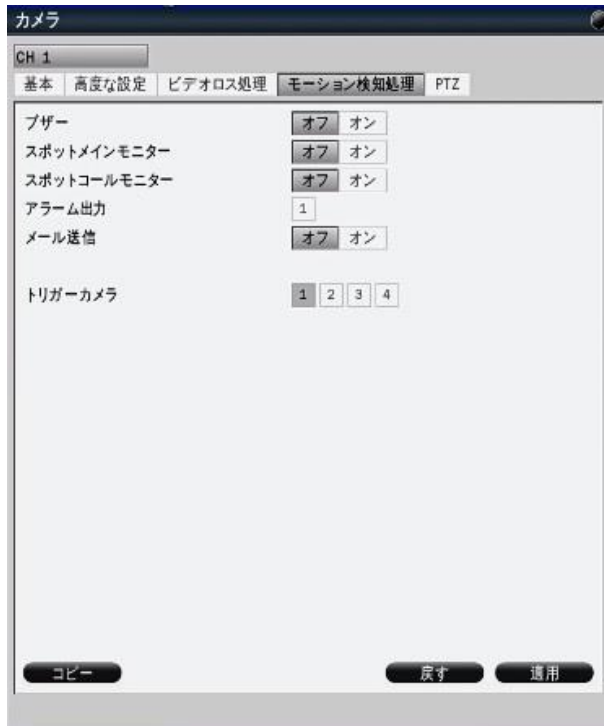
映像信号が途絶えた時の処理を設定します。



- ブザー : 映像信号ロスを検知した時、ON することでブザー音がでます。
- アラーム出力 : 対応するアラーム出力設定
- メール送信 : 映像信号ロスを検知した時、あらかじめ登録されたメールアドレス ON にすることで送信します。
- トリガーカメラ : イベント記録のために複数のカメラを選択することができます。
- コピー : クリックし他のカメラに設定をコピーできます。

6.1.1.4 モーション検知処理

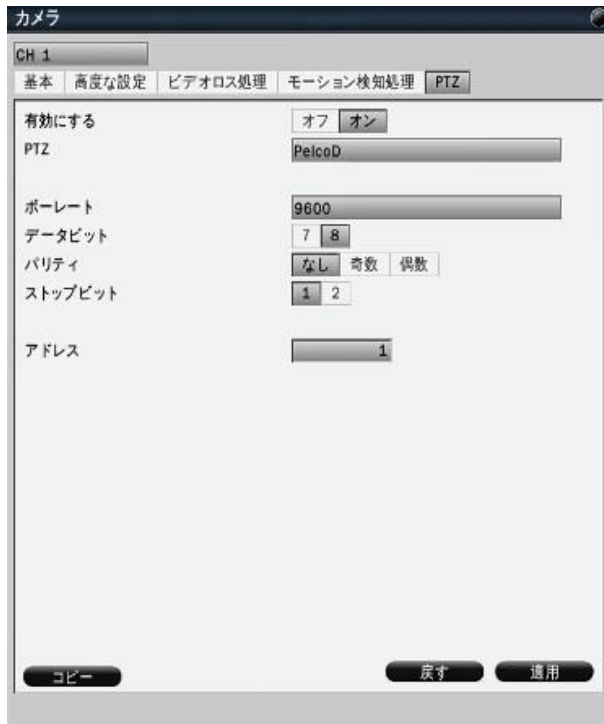
モーションが検知した時の処理を設定できます。



- ブザー : モーション検知した時、ON することでブザー音がでます。
- スポットメインモニター :
- スポットコールモニター
- アラーム出力 : 対応するアラーム出力設定
- メール送信 : 映像信号ロスを検知した時、あらかじめ登録されたメールアドレス ON にすることで送信します。
- トリガーカメラ : イベント記録のために複数のカメラを選択することができます。
- コピー : クリックし他のカメラに設定をコピーできます。

6.1.1.5 PTZ 設定

PTZ カメラが接続されたカメラの設定ができます。



- 有効にする : ON にすることで PTZ カメラの設定が可能になります。
- PTZ プロトコル : PTZ カメラのプロトコルを選択できます。
- ボーレート : DVR の RS485 ポートを介して操作や情報を送信するために使用する速度を選択します。
- データビット : データビットが転送するために使用します。7もしくは8に設定することができます。
- パリティ : 接続の送信レベルの選択ができます。なし、奇数、偶数
- ストップビット : RS485 接続の停止ビット設定を 1 もしくは 2 に設定することができます。
- アドレス : アドレスはその PTZ カメラと同じアドレスに設定する必要があります。

6.1.2 録画設定

録画設定ボタンを押すと下記画面が表示され、各カメラを独立して設定することができます。



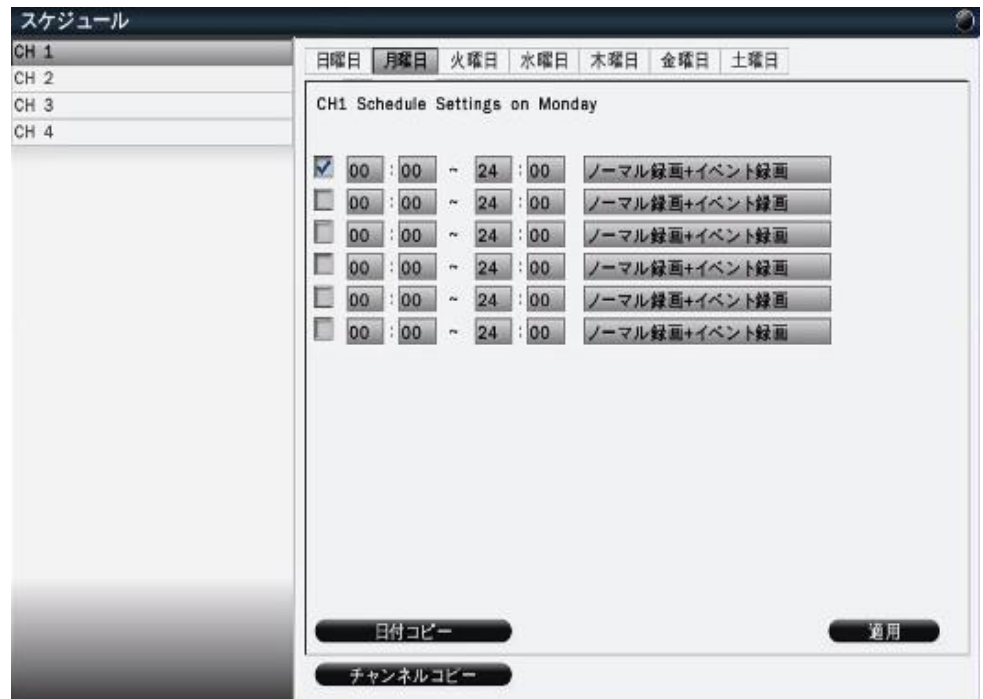
各チャンネルを押すことで設定できます。

- ビットレート : VBR - 可変ビットレート CBR - 固定ビットレート
- オーディオ録画 : 音声録画の ON/OFF ができます。
- プリ録画 : 0~5 秒でイベントが発生した前の時間が設定できます。
- ポスト録画 : 0~255 秒でイベントが発生した後の録画時間が設定できます。
- ノーマル録画 : 録画解像度・フレームレート・圧縮品質の設定ができます。
- イベント録画 : 録画解像度・フレームレート・圧縮品質の設定ができます。
- タイムスタンプ : 録画中のタイムスタンプの有効・無効の選択ができます。また、スタンプの位置を選択できます。
- コピー : クリックし他のカメラに設定をコピーできます。

適用ボタンで保存します。

6.1.3 スケジュール設定

スケジュールを押すと下記画面が表示され、各チャンネルの録画スケジュールを設定することができます。



スケジュールを設定するには、左の列からチャンネルを選択し、チャンネルの録画方法が、右の欄に表示されます。

曜日を選択し、時間別にノーマル録画、イベント録画等の設定を行います。チェックが入った列が有効になります。

複数の時間を選択できます。適用で保存されます。

日付コピーを押すことで他の曜日に設定をコピーすることができます。

チャンネルコピーをすることで同設定を他のチャンネルにコピーできます。

6.2 ネットワーク

6.2.1 ネットワーク設定

ネットワーク経由で DVR にアクセスするために適切に設定する必要があります。

6.2.1.1 LAN 設定

DHCP, 固定 IP,もしくは PPPoEを介し DVR にアクセスします。設定を有効にして構成するために使用したいオプションを選択します。

ネットワークタイプ

無効にする : ネットワークを無効にします。

ネットワーク

LAN DDNS

ネットワークタイプ

HTTPポート

RTSPポート

6.2.1.1.1 DHCP

ネットワーク環境で DHCP 設定がある場合、DHCP を選択すると、自動的に下記に示すアドレスを取得します。適用を押し設定を保存します。

ネットワーク

LAN DDNS

ネットワークタイプ

IPアドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

プライマリDNS

セカンダリDNS

MACアドレス

HTTPポート

RTSPポート

6.2.1.1.2 固定 IP

固定 IP を有効にして設定します。プロバイダーより割り当てられた情報を入力し、適用を押し設定を保存します。

The screenshot shows the 'ネットワーク' (Network) configuration window with the 'LAN' tab selected. The 'ネットワークタイプ' (Network Type) is set to '固定IP' (Fixed IP). The following fields are filled with values:

Field	Value
IPアドレス	192.168.001.049
サブネットマスク	255.255.255.000
デフォルトゲートウェイ	192.168.001.001
プライマリ-DNS	168.095.001.001
セカンダリ-DNS	202.043.195.052
MACアドレス	84:6a:ed
HTTPポート	80
RTSPポート	554

An '適用' (Apply) button is located at the bottom right of the window.

6.2.1.1.3 PPPoE

PPPoE を有効にして設定します。イーサネット (PPPoE) サービスを介して PPPoE プロトコルを使用することができます。適用を押し設定を保存します。

The screenshot shows the 'ネットワーク' (Network) configuration window with the 'LAN' tab selected. The 'ネットワークタイプ' (Network Type) is set to 'PPPoE'. The following fields are filled with values:

Field	Value
IPアドレス	000.000.000.000
サブネットマスク	000.000.000.000
デフォルトゲートウェイ	000.000.000.000
プライマリ-DNS	000.000.000.000
セカンダリ-DNS	000.000.000.000
MACアドレス	84:6a:ed
PPPoE	
ユーザー名	pppoe user
パスワード	*****
MTU	1500
HTTPポート	80
RTSPポート	554

An '適用' (Apply) button is located at the bottom right of the window.

6.2.1.2 DDNS 設定

DDNS を選択すると下記設定ページが表示され、設定できます。

DDNS を有効にし、DDNS プロバイダーから割り当てられた情報を入力します。

適用を押し設定を保存します。



built-in DDNS はオフのままでも urDDNS.com を使用することができます

空欄に任意のホスト名を入力してください

6.2.2 通知

6.2.2.1 E-Mail 通知

The screenshot shows a window titled '通知' (Notification) with a sub-tab 'メール通知' (Email Notification). The fields are as follows:

- メールアドレス1: [Empty text box]
- メールアドレス2: [Empty text box]
- メールアドレス3: [Empty text box]
- 発信メールアドレス: [Empty text box]
- 件名: Alert [Text box with 'Alert' entered]
- SMTPサーバー: [Empty text box]
- SMTPポート: 25 [Text box with '25' entered]
- SSL: オフ オン
- STARTTLS: オフ オン
- 認証: オフ オン
- ユーザー名: [Empty text box]
- パスワード: [Empty text box]
- テストメール送信: [Send button]

At the bottom right of the window is a '適用' (Apply) button.

- メールアドレス1～3: アラームメッセージを3つのメールアドレスを入力できます。
 - 発信メールアドレス: 送信用のメールアドレスを入力します。
 - 件名: E-メールの件名を入力します。
 - SMTP サーバー: SMTP (e-mail)サーバー名を割り当てます
 - SMTP ポート: SMTP サーバー が使用するポート番号を割り当てます。
 - SSL: メールサーバーが SSL によって暗号化される必要がある場合 SSL を有効にします。
 - 認証: SMTP サーバーで認証が必要な場合は有効にします。(ユーザー名/パスワード)。
 - ユーザー名/パスワード: SMTP サーバーが 認証が必要とする場合ログインユーザー名とパスワードを入力します。
 - テストメール送信: 現在設定されているメールアドレスにテストメールを送信します。
 - アラーム名: アラーム名を入力します。(任意)
- 適用を押し設定を保存します。


6.3 アラーム設定

6.3.1 アラーム入力設定

アラーム動作とトリガー動作を設定できます。

アラーム入力 1	有効にする	オフ	オン
アラーム入力 2	アラーム名	Sensor 01	
アラーム入力 3	アラームタイプ	N.O.	
アラーム入力 4	アラーム持続期間	タイムアウト	30 秒
	アラーム処理		
	ブザー	オフ	オン
	スポットメインモニター	オフ	オン
	スポットコールモニター	オフ	オン
	アラーム出力	1	
	メール送信	オフ	オン
	トリガーカメラ	1 2 3 4	

- アラーム入力：1～4のアラーム入力を選択すると、対応する設定が表示されます。
- 有効：アラームの有効の ON/OFF を設定します。
- アラーム名：アラーム名を入力します。(任意)
- アラームタイプ：アラームのトリガータイプを選択します。(N.O.もしくは N.C.)
- アラーム継続機能：トリガータイプを選択し継続時間を設定します。
タイムアウト：設定した時間でアラームが停止します。

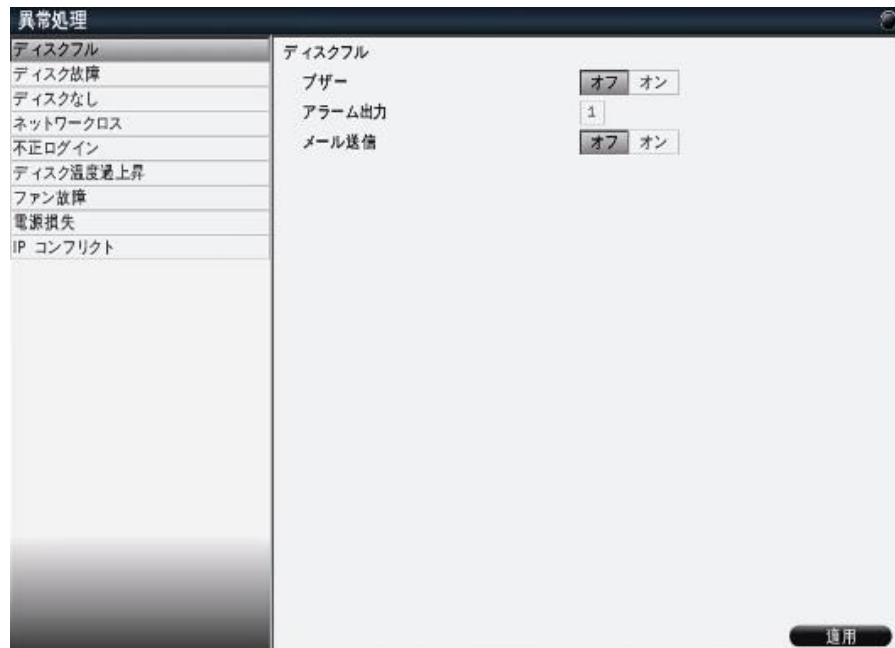
連続アラーム：を押すまでアラームが作動し続けます。

トランスペアレント：検知されたイベントが終了するまでアラームが作動します。

- アラーム処理：検知されたアラームが各種動作設定できます。
ブザー ・ モニター ・ アラーム出力 ・ メール送信
- トリガーカメラ：イベント記録のために複数のカメラが検出されたときに動作するようにしたいカメラを選択することができます。
適用を押し設定を保存します。

6.3.2 異常処理

例外的な異常が発生した時のシステムの動向を定めることができます。



例外的な異常は、フルディスク、ディスク故障、ディスクなし、ネットワークロス、不正ログイン、ディスク温度過上昇、ファンの故障、電源損失、IP アドレスの競合などです。

例外を選択し、以下のように動作を設定できます。

- ブザー - 異常が発生した時ブザーの ON/OFF が選択できます。
- アラーム出力 - 異常が発生した時、動作するアラームを選択します。
- メール送信 - 異常が発生した時、メールを送信します。

6.4 システム設定

6.4.1 デバイス設定

The screenshot shows a window titled 'デバイス' (Device) with the following settings:

DVR名	
DVR No.	1
言語	日本語
リモートID	ID #1

ログイン認証を有効にする: オフ オン

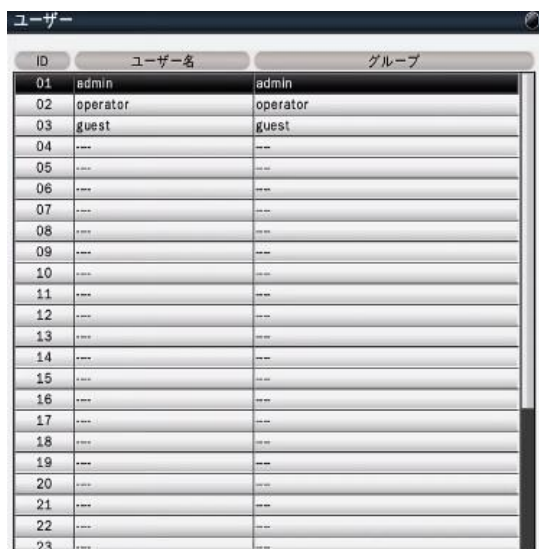
適用

- DVR 名: DVR の名前(任意)を設定します。
- DVR の番号を入力します。
- 言語: DVR に使用する言語をリストから選択します。
- リモート ID: リモコンは使用できません
- ログイン認証を有効にする:OFF を選択すると、ユーザー名およびパスワードの入力をする必要がありません。ON にすると、自動的にログアウトの画面が表示されますので、ログアウト時間を設定します。ログアウト時間が経過するとユーザー名およびパスワードを必要とします。

適用をクリックし設定を保存します。




6.4.2 ユーザー設定

ユーザー設定ページでは、ユーザーを追加または削除することができます。



ID	ユーザー名	グループ
01	admin	admin
02	operator	operator
03	guest	guest
04	---	---
05	---	---
06	---	---
07	---	---
08	---	---
09	---	---
10	---	---
11	---	---
12	---	---
13	---	---
14	---	---
15	---	---
16	---	---
17	---	---
18	---	---
19	---	---
20	---	---
21	---	---
22	---	---
23	---	---

初期パスワードは、“admin/admin”，“operator/operator”，“guest/guest”です。

- 設定するユーザー名をダブルクリックするか、 を押すことで編集できます。
-  を押すと削除されます。ただし、最低一人の管理者はシステムを動作させる必要があります。
-  を押すと新しいユーザーを追加できます。

6.4.3 日付設定

6.4.3.1 一般設定



- 時間調整：列をクリックすると、システムの日付と時間を設定するためのカレンダーが画面上にポップアップ表示されます。適用をクリックし設定を保存します。
- タイムゾーン：タイムゾーンを設定することができます。日本は GMT+09:00 です。
- 日付フォーマット：DD/MM/YYYY, MM/DD/YYYY, YYYY/MM/DD から選択します。
- 時間フォーマット：12時間表示か24時間表示を選択できます。

6.4.3.2 時間設定 (日本国内では必要ありません)



- 有効にする: 夏時間を設定するのは、ON を選択します。
- 開始時間: 夏時間の開始日時を設定します。
- 終了時間: 夏時間の終了日時を設定します。
- 夏時間調整: 標準時間から前方に移動する時間を選択できます。可能な時間は、30, 45, 60, 90 と 120 分です。

6.4.3.3 NTP クライアント設定



- 有効にする: NTP同期を有効にするには ON を選択します。
- 同期間隔(分): 自動的に時刻を更新する頻度を設定できます。「今すぐ同期」をクリックすると同期が始まります。
- NTPサーバー: 同期する時間サーバーのアドレスを入力します。初期設定された NTPサーバーは“time.stdtime.gov.tw”です。
- NTPポート: 初期設定値は、“123”です。ネットワーク環境に応じて変更可能です。

適用をクリックし設定を保存します。

6.4.4 表示

表示設定は、モニターの出力の設定が可能です。

6.4.4.1 一般設定



- モニター出力: HDMI と VGA 出力のタイプを設定できます。
両方のモニター出力は、メインモニターまたはコールモニター出力であることができます。
- Monitor resolution: 接続されたモニター出力の解像度を選択します。
サポートされている出力は、1920x1080, 1440x900, 1366x768, 1280x1024, 1024x768
オートを選択すると自動で適切な解像度を選択します。

6.4.4.2 メインモニター設定

メインモニターの設定ができます。



シーケンス

- 有効にする:メインモニターに画面がシーケンスし表示されます。
- ドウェル: シーケンスのインターバルの時間設定ができます。
- カメラ: シーケンスしたいカメラを選択します。

6.4.4.3 コールモニター設定



メインモニターの設定ができます。

シーケンス

- ドウェル: シーケンスのインターバルの時間設定ができます。
- カメラ: シーケンスしたいカメラを選択します。

コールモニター

- 設定ボタンをクリックすると下記コールモニターの設定画面が表示されます。



- タイトル表示: コールモニターのタイトルを表示するには ON にします。
- シーケンス: シーケンス表示にするには ON にしてください。
- ディスプレイモード: シーケンスが ON の時は、フル画面、OFF の時フル画面もしくは4画面表示を選択できます。また、右サイドにあるカメラ番号を選択することで表示画面を割り当てることができます。

6.4.5 HDD

DVR 内の HDD の設定ができます。

6.4.5.1 一般設定

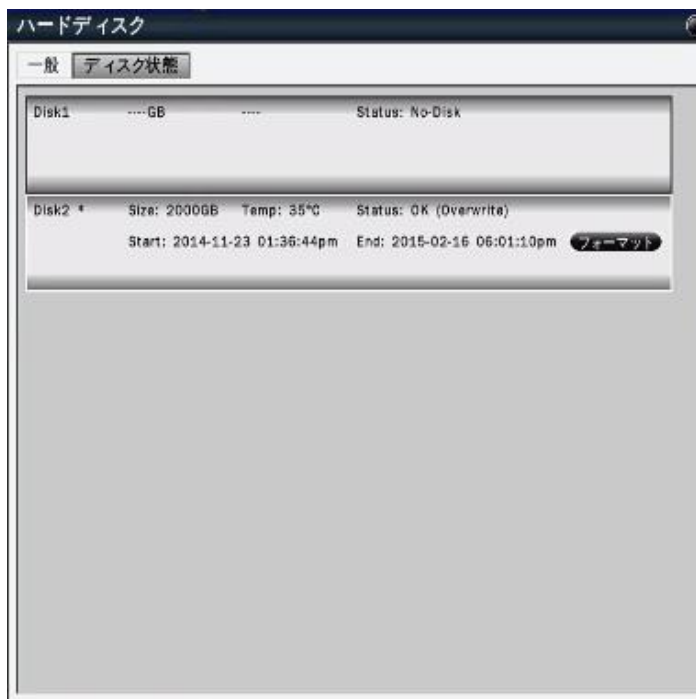


- 上書き: HDD 容量がフルになった時、上書きするには ON に設定します。
- 自動削除: HDD のデータを選択した日にち後自動で削除されます。機能を無効にするには、「0」を選択します。

適用をクリックし設定を保存します。

6.4.5.2 ディスク状態

このページには、利用可能なすべてのハード・ディスクの情報を表示します。情報は、ハードディスクの合計ストレージサイズ、現在の温度、使用状況、使用可能なデータの開始/終了時間を含みます。



- フォーマットをクリックすることで選択された HDD がフォーマットされます。

注意: フォーマットするとデータが削除され復旧しません。

6.4.6 その他

6.4.6.1 シャットダウン

下記ページより再起動もしくはシャットダウンを選択できます。



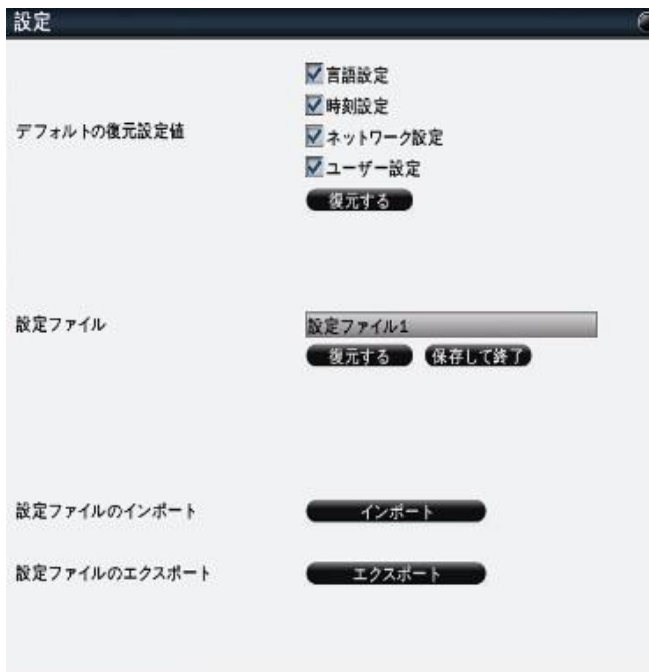
6.4.6.2 ファームウェア更新



ファームウェアをアップデートするには、アップデートしたいファームウェアのバージョンが入った USB デバイスを接続します。「アップグレード」をクリックしアップデートを実行してください。

メモ: アップグレード中は、USB メモリーを抜いたり、電源を切ったりしないでください。

6.4.7 設定

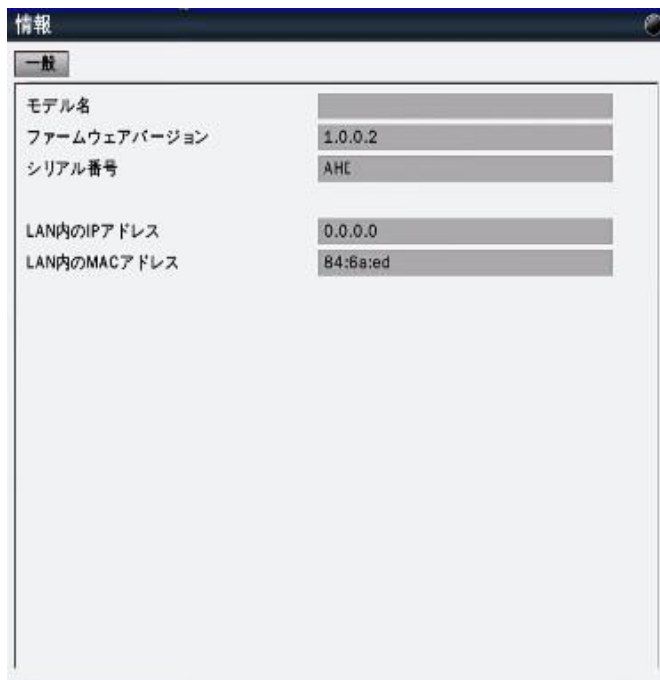


- デフォルトの復元設定値: 復元ボタンをクリックすることで工場出荷状態の設定に戻ることができます。設定を戻したくない項目を上記より選択することで対象外にすることができます。選択した項目は、現在の設定が有効のままになります。
- 設定ファイル: 構成名を選択して、現在の設定を保存するには「保存して終了」をクリックします。また、リストから構成を選択し、選択した設定を復元する「復元する」をクリックし復元することができます。
- 設定ファイルのインポート: 「インポート」ボタンをクリックし USB メモリーから DVR の構成を取り組むことができます。
- 設定ファイルのインポート: 「エクスポート」: 「エクスポート」ボタンをクリックし USB メモリーへ DVR の構成を取り組むことができます。

6.5 情報

6.5.1 一般情報

一般的なシステム情報を表示します。情報には、モデル名、ファームウェアバージョン、シリアル番号、LAN内のIPアドレス及びMACアドレスを含みます。



The screenshot shows a window titled '情報' (Information) with a sub-tab '一般' (General). It displays the following system information:

モデル名	
ファームウェアバージョン	1.0.0.2
シリアル番号	AHC
LAN内のIPアドレス	0.0.0.0
LAN内のMACアドレス	84:6a:ed

6.5.2 ログ

フィルタリングされたシステムイベントのログを確認することができます。



日付列をクリックするとカレンダーがポップアップされます。指定した日付のログが表示されます。

表示したい項目にチェックを入れるもしくは抜くことでフィルタリングされ、ログの表示を変更できます。

USB メモリーを接続後、「エクスポート」をクリックするとログを保存します。

7 Web Viewer 操作

7.1 DVR に接続する

インターネットエクスプローラー (IE)を通じてライブ映像、録画映像及び操作することができます。web viewer に接続する前に PC 及びDVRの両方がインターネットに接続され、ネットワーク機能が有効になっていることを確認してください。

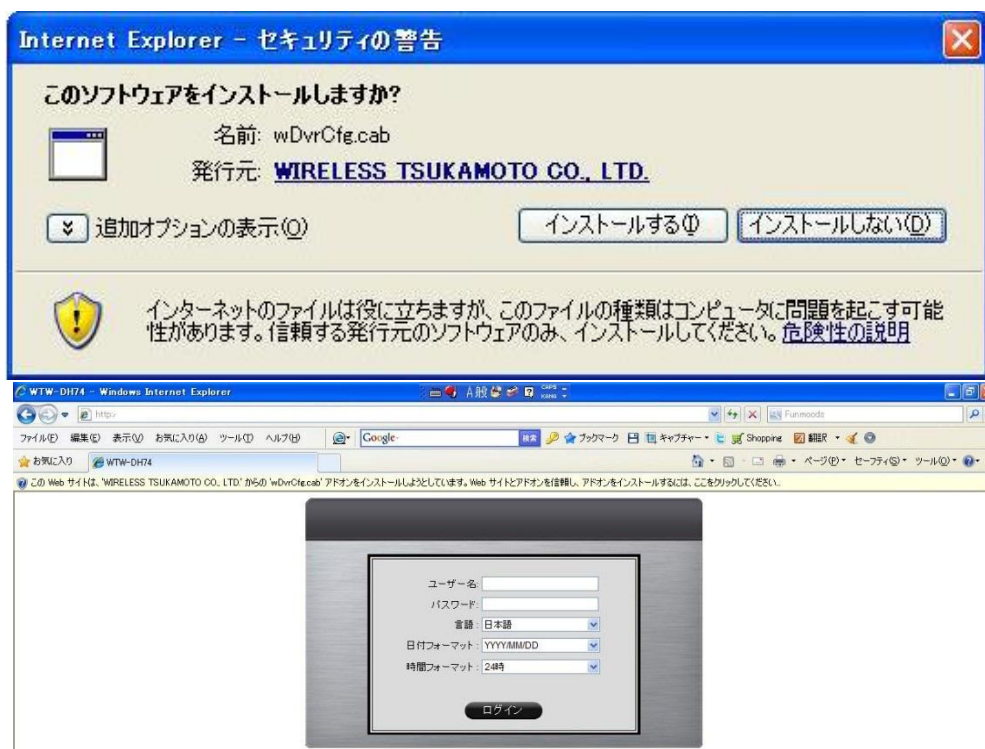
システム要件

web viewer には、下記の最低システム要件を満たさなければなりません。

- OS: Microsoft Windows Vista, Windows 7, Windows 8
- Internet Explorer 8 もしくはそれ以上 (32 bit)
- CPU : 最低 Intel i3 もしくはそれ以上
- RAM: 最低 4GB
- グラフィックカード: 最低 128MB

7.2 ログイン

IE フラウザーを開き、DVR IP アドレスをアドレスバーに入力します。最初に接続する時は、Active X をブラウザにインストールする必要があります。ブラウザに下記のインストールのダイアログがポップアップします。有効をクリックしインストールを開始します。



上記の警告が表示されることがあります。クリックして解除してください。

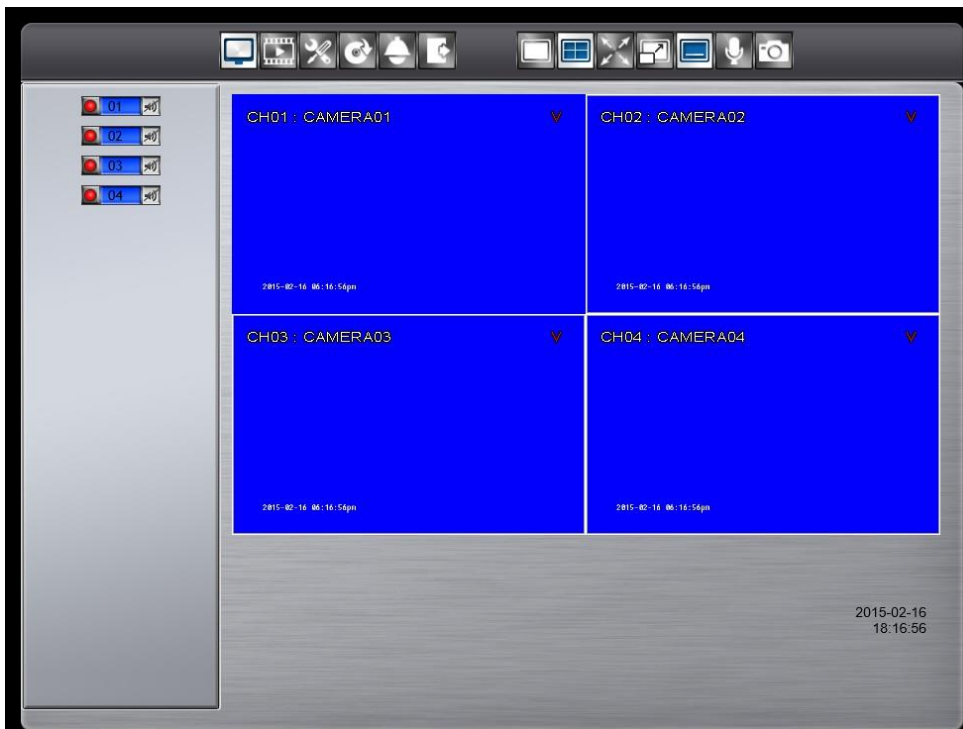
Active X をインストール後、ユーザー名とパスワードを入力するためのログイン画面がポップアップします。ユーザー名、パスワードを入力し、言語、日付形式、時間形式を選択し、「ログイン」ボタンをクリックします。



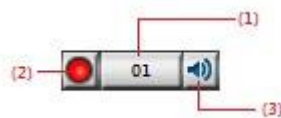
初期設定されたユーザー名とパスワードは DVR のログイン番号とおなじです。

- 管理者 : admin/admin:
- オペレーター : operator/operator
- Guest : guest/guest

7.3 遠隔ライブ映像



システムにログインした後、web viewer は、自動で4画面表示ライブ映像を表示します。表示されたチャンネルの映像をダブルクリックすると、フル画面が表示されます。再度、ダブルクリックで4画面画像に戻ります。



左欄に表示されたアイコン (2) は、システムの状況、チャンネルの状況、及び音声のチャンネルを制御するためにあります。アイコンについては、2.2.1 一般設定を参照ください。

基本的な操作アイコンがメイン画面に表示されますアイコンは次のとおりです。



ライブ画面を表示します



検索と再生モードを表示します



セットアップ画面表示を表示します



バックアップメニューを表示します



PTZ 操作パネルが表示します



ログアウトします (ログイン認証をオン時に表示します)



1 画面表示モード



4 画面表示モード



全画面表示



OSD 表示 ON/OFF



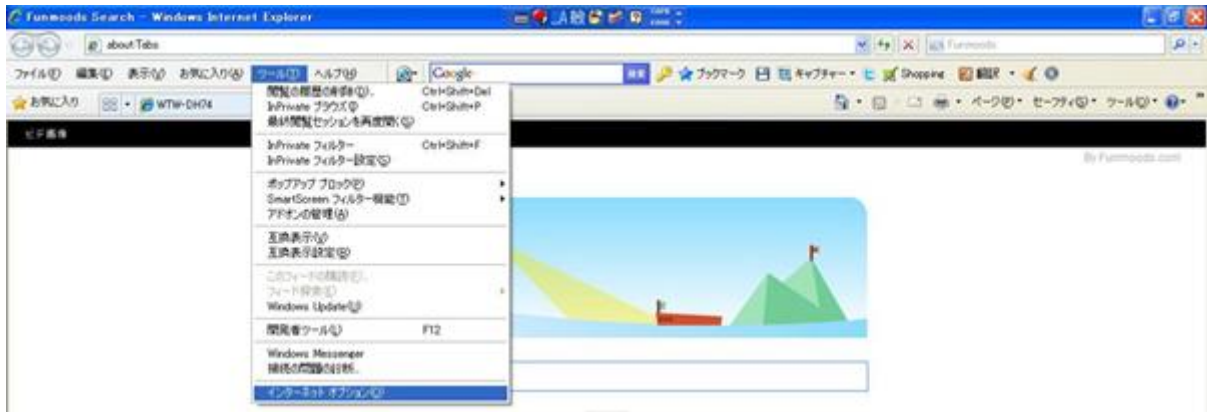
音声



スナップショット

注意)リモートスナップショットの場合は、リモートスナップショットが正常に動作することを確認するため以下の2段階のように IE ブラウザーで保護モードを無効にしてください。

Step 1. IE ブラウザの ツール → インターネットオプション



Step 2. セキュリティのタグを押し、「保護モードを有効にする」のチェックを外します。(下記の図参照)その後、スナップショットは、非保護モードで正常に実行されます。



7.4 リモート検索&再生



再生ボタンをクリックして再生モードに入ります。映像は時間、チャンネルやイベントによって検索することができ、開始する検索の種類を選択します。

7.4.1 時間検索



画面上のカレンダーに記録されたデータは、DVRのHDDに含まれています。カレンダー上のオレンジ色になった日付には、録画データが存在することを示しています。赤いハイライト表示日付は、現在の検索の日付を示しています。現在選択された日付の録画記録リストが画面に表示されます。選択したファイルをダブルクリックして再生を開始します。

7.4.2 チャンネル検索



チャンネル別検索は、チャンネルによってイベントの映像を検索することができます。カレンダーから日付を選択し、見たいチャンネルを選択するとイベント録画リストが画面に表示されます。

選択した記録されたファイルをダブルクリックして再生を開始します。

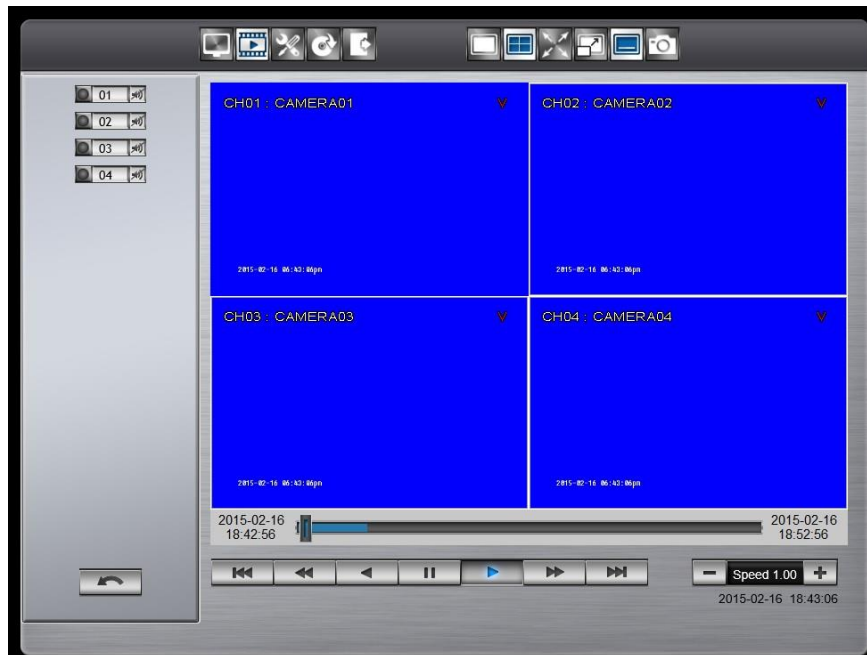
7.4.3 イベント検索



イベントによる検索は、チャンネルとイベントの種類によってイベント映像リストを検索することができます。イベントチャンネルは、個々に選択するもしくは、全部オン・全部オフを選択します。その後、イベントタイプ(アラーム、モーション検知およびビデオロス)を選択すると、再生リストが選択され表示されます。選択したファイルをダブルクリックして再生を開始します。

7.4.4 Web Viewer 再生操作

基本的な再生画面は下記です。



時間帯バーは、現在の再生状態とタイムラインが表示されます。再生に選択されたタイムラインに移動するために時間帯バー上の時間インジケータをドラッグします。表示されている時間は、現在の再生区間の初めと終わりの時間を示しています。



再生



一時停止



巻き戻し



早送ボタンを押した後   で再生スピードの調整ができます。

(x0.25, x0.5, x1, x2, x4 , x8.)



次のファイルに進む



早戻しボタンで再生スピードの調整ができます。

(x0.25, x0.5, x1, x2, x4 , x8.)



前のファイルに戻る

7.4.5 Web Viewer 設定メニュー



をクリックすると、下記のシステムセットアップ画面が表示されます。



Web Viewer を介して遠隔ですべての DVR 設定を行うことができます。セットアップメニュー操作は DVR と同じです。セットアップの詳細については第 6 章システム設定メニューを参照してください。

7.4.6 遠隔バックアップ(Export)



を押すとバックアップ(Export)メニューが表示されますDVRからの映像ファイルをバックアップすることができます。



映像をバックアップするには、カレンダーから希望する日付および開始時間を選択します。チャンネルを指定します。(全部のチャンネルオンもしくはオフをクリックすることで有効または無効にできます。)転送されるファイルの最大時間は60分です。開始するには[サーチ]をクリックし、検索された動画ファイルが画面に表示されます。最大ビデオファイルサイズは、検索結果が2000MBを超えている場合、システムは自動的に新しいファイルを2000MBに作成します。

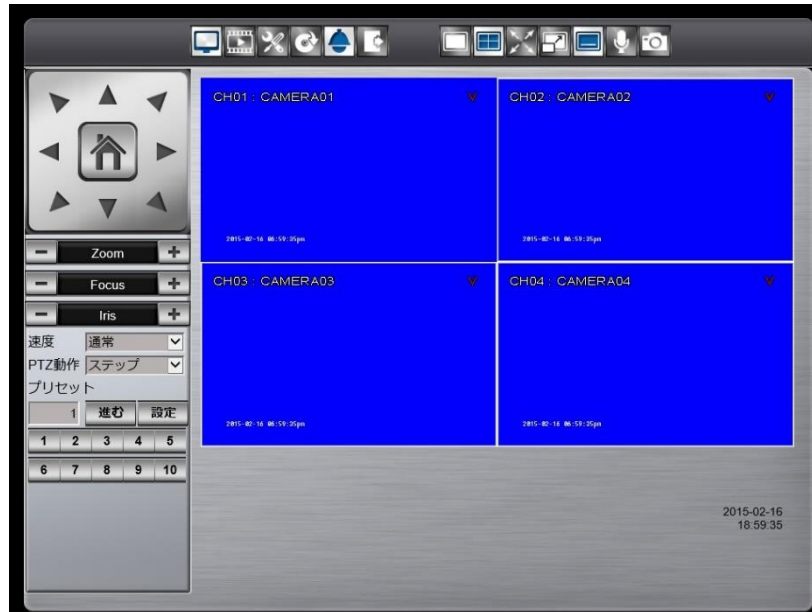
選択したファイルをダブルクリックすると、ファイルのダウンロードがポップアップしますので、[保存]をクリックし、保存したい場所の保存先のエクスプローラーがポップアップします。「保存」を押すとファイルは保存されます。

Export Player がインストールされていないPCの場合「Export Player」ボタンを押すことでインストールが可能です。保存確認がポップアップしますので保存を押し、ファイルを保存しインストールしてください。Export Player の操作については、第5章を参照してください。

7.4.7 遠隔 PTZ 操作



ボタンを押すと上記の PTZ 操作画面が出ます。PTZ できるカメラを接続時操作可能になります。

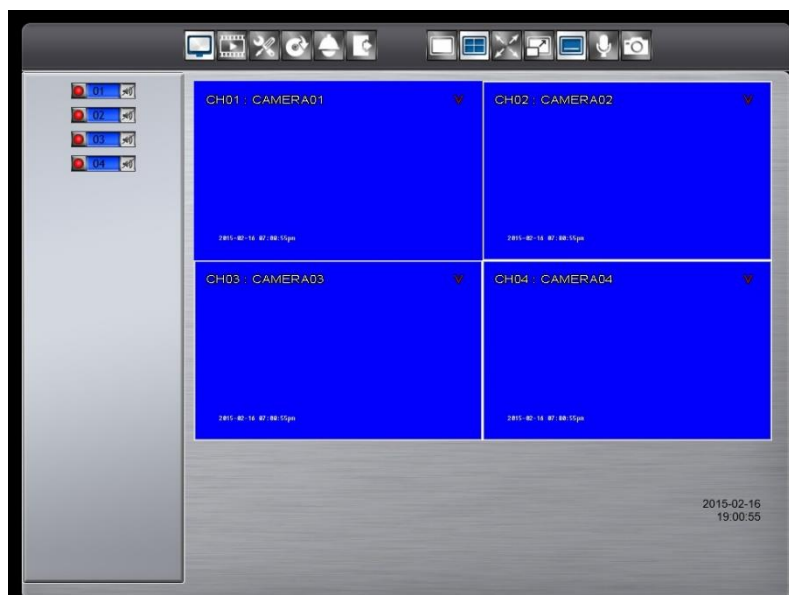


基本操作は、DVR PTZ 操作と同じですので第3章の PTZ を参照してください。

7.4.8 遠隔スナップショット



“Snapshot” ボタンをライブモードもしくは再生モード時に押すと現在の画像を PC のフォルダーに保存できます。




7.4.9 遠隔デジタルズーム


デジタルズーム機能は、ライブのモードまたは再生モードの 2x、4x、および 8x でユーザーがライブのビデオを拡大することを可能にします。

フォーカスを、選ばれたビデオに移動させなさい。


“Full Screen”  ボタンをタップしてください

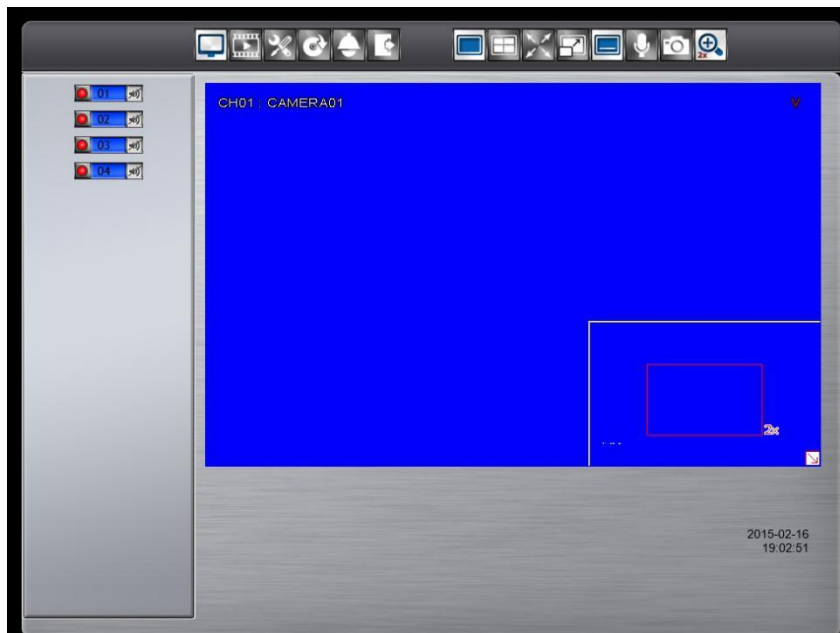
“Digital Zoom”  ボタンを押すと デジタルズームできます

ライブモードまたは再生モードで 2 倍、4 倍、8 倍速でのライブ映像を拡大す

ることができます。  1画面ボタンを押しフル画面にします。

(デジタルズームは、フル画面モードでのみ作動します)

 ボタンを押すと2倍、もう一度押すたびに4倍、8倍、1倍を繰り返します。ズーム時は PIP モードで拡大画面と元の画面が小さい画面で表示され、赤い枠にて倍率された範囲が表示されています。赤い枠を左クリックでドラックすることでエリアが移動されます。



8 スマートホンでの遠隔監視 iOS (iphone) & Android

8.1 アンドロイドシステム

システムの要綱

VS viewer をインストールする前に、スマートホンが、Android2.2 もしくはそれ以上のバージョンであることを確認してください。また、ワイヤレスネットワークがサポートされているデバイスであることも確認してください。

アプリのダウンロード

Step1. “Play ストア”を開けます。



Step2. “VS Viewer”を検索します。タップするとインストールが開始します。同意を求めめる画面がポップアップしますので同意してください。ダウンロード完了後 VS viewer のアイコンが表示されます。



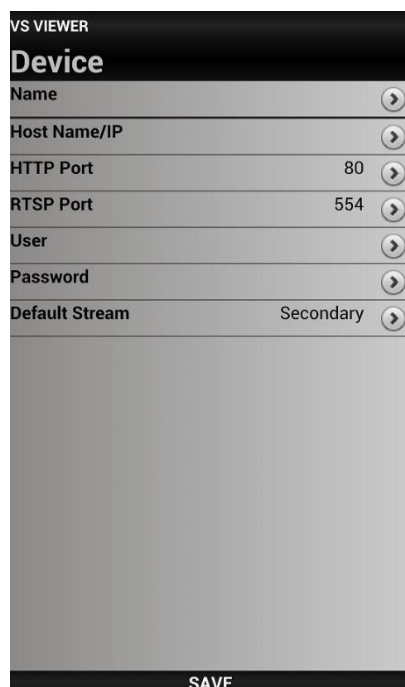
Step3. “VS Viewer”のアイコンをタップしてアプリを起動します。



Step4. “Add”をタップし新規 DVR を登録します。

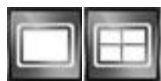
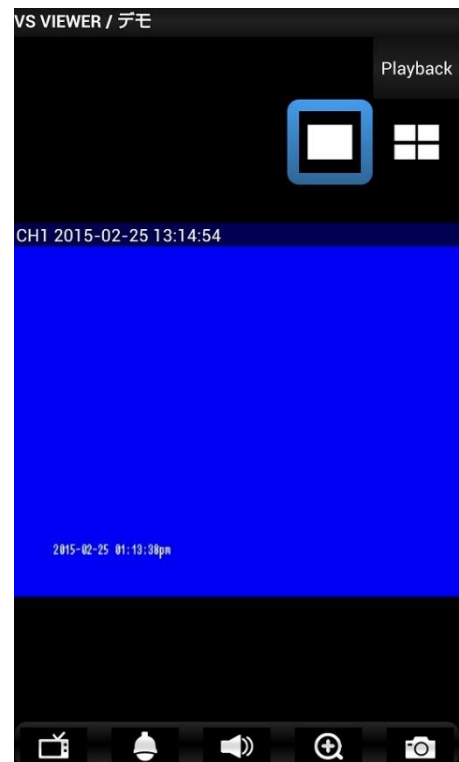


Step5. DVR 名 (Name), ホスト名 (Host name/IP), ポート (Port), ユーザー名 (User name)、パスワード (Password)を正確に打ち込み “Save”ボタンを押します。



アプリの操作

登録した DVR をタップすると映像が表示されます。




を押し、1画面もしくは4画面を選択します。

スマートホンの自動画面回転機能が ON の場合、横向きにした時、映像も横方向になります。

表示チャンネルを選択する



をタップするとカメラのチャンネルが選択できます。再度  を押すと選択画面が非表示になります。

PTZ コントロール



を押すとフル画面での PTZ モードが表示します。

- 8 方向 pan/tilt/zoom コントロール: pan/tilt のできるカメラを上/下/右/左/右上/左上/右下/左下のアイコンを押すことで方向を変えることができます。



: ボタンをタップすることでズームイン・ズームアウトができます。



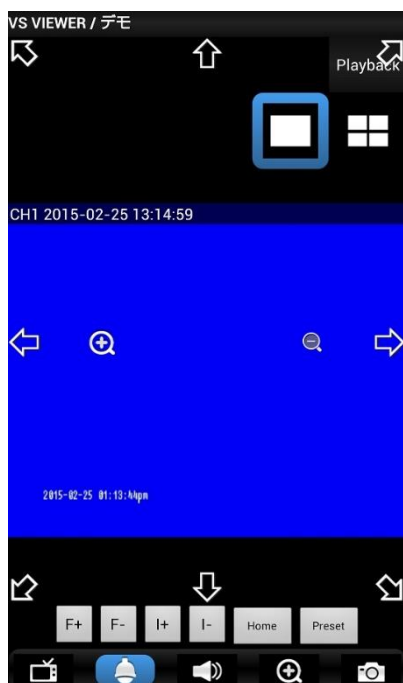
: ピント調整 near(近い)、far(遠い)



: アイリス調整 near(近い)、far(遠い)




: ホームの位置に戻ります。




- Preset: **Preset** プリセットメニューがポップアップします。あらかじめ登録されたプリセット番号を押すことで登録された向きにカメラを向けることができます。




その他

 音声切り替え

 フル画面モードで、タップするとデジタルズームが操作できます。

表示画面に2本の指を置き、ピンチすることでズームイン・ズームアウトができます。表示率のズームが画面に表示されます。(0.2X~25X)

 静止画として現在のイメージを保存するために、スナップショットのアイコンをタップして、デバイスフォルダ保存できます。

8.2 iOS システム

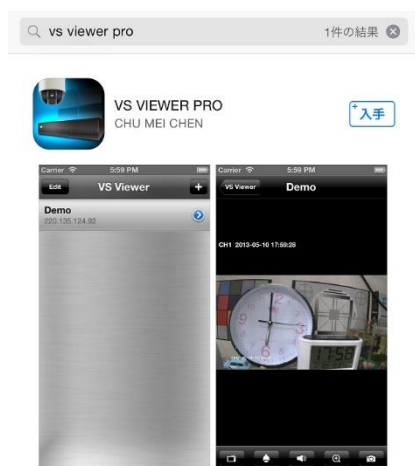
システムの要綱

VS viewer をインストールする前に、スマートフォンが、iOS5.1 もしくはそれ以上のバージョンであることを確認してください。また、ワイヤレスネットワークがサポートされているデバイスであることも確認してください。

Step1. “App Store” を押します



Step2. “VS Viewer pro”を検索します。タップするとインストールが開始します。同意を求める画面がポップアップしますのでログインパスワードを入力し同意してください。ダウンロード完了後 VS viewer のアイコンが表示されます。

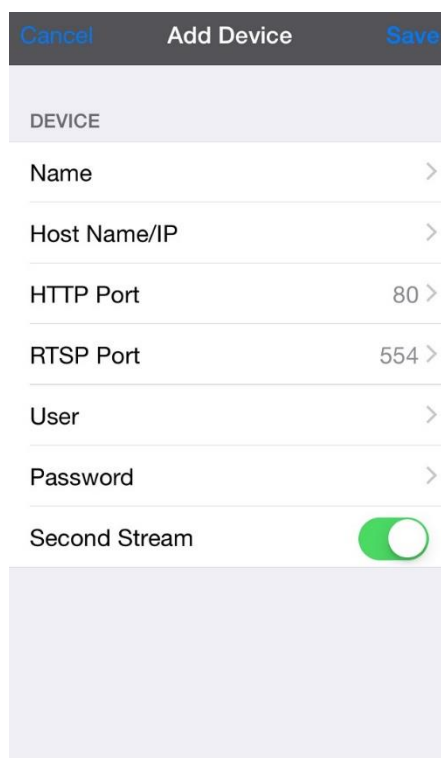


Step3. “VS Viewer” を起動します



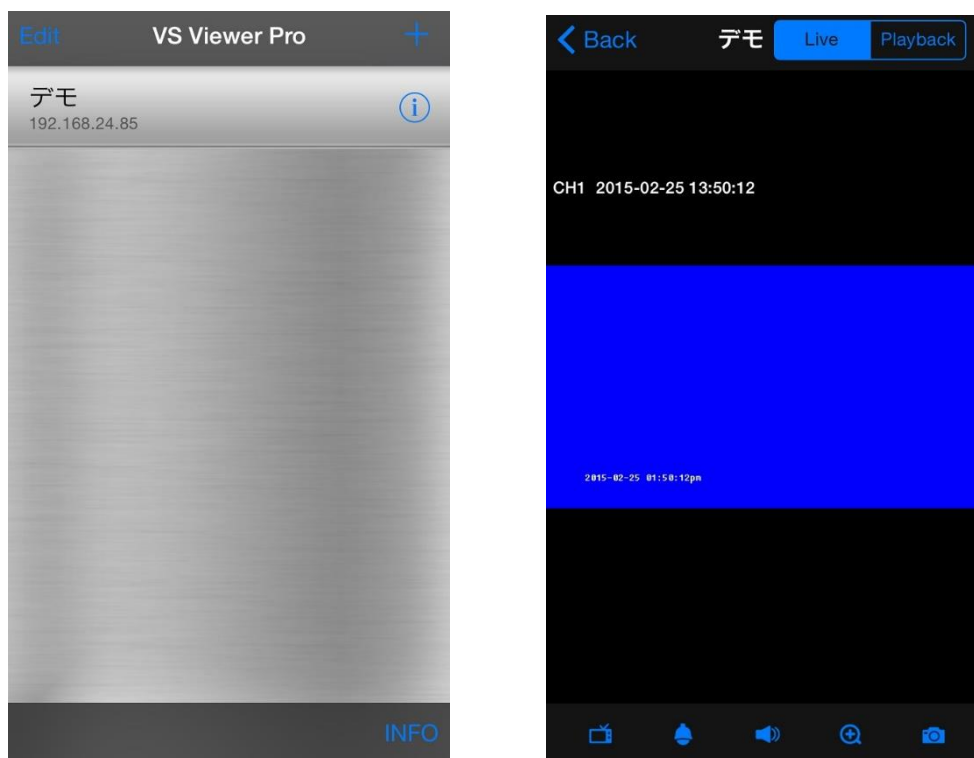
Step4.  をタップし新規 DVR を登録します。

Step5. DVR 名 (任意), ホスト名 (Host), ポート (HTTP ポート, RTSP ポート), ユーザー名 (User)、パスワード (Password) を正確に打ち込み “Save” ボタンを押します。





アプリの操作

登録した DVR をタップすると映像が表示されます。



表示チャンネルを選択する

 をタップするとカメラのチャンネルが選択できます。再度  を押すと選択画面が非表示になります。

PTZ コントロール



を押すとフル画面での PTZ モードが表示します。

- 8 方向 pan/tilt/zoom コントロール: pan/tilt のできるカメラを 上/下/右/左/右上/左上/右下/左下のアイコンを押すことで方向を変えることができます。



: ボタンをタップすることでズームイン・ズームアウトができます。



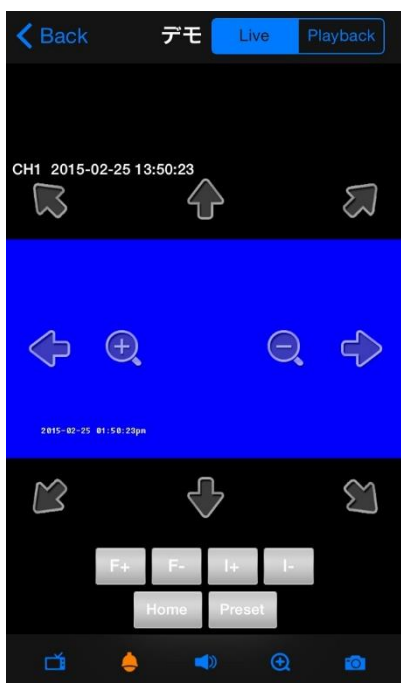
: ピント調整 near(近い)、far (遠い)



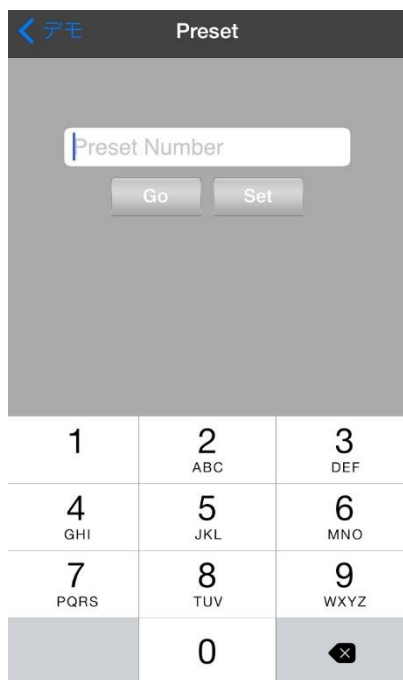
: アイリス調整 near(近い)、far (遠い)




: ホームの位置に戻ります。




- Preset: **Preset** プリセットメニューがポップアップします。あらかじめ登録されたプリセット番号を押すことで登録された向きにカメラを向けることができます。




その他

 音声切り替え

 フル画面モードで、タップするとデジタルズームが操作できます。

表示画面に2本の指を置き、ピンチすることでズームイン・ズームアウトができます。表示率のズームが画面に表示されます。(0.2X~25X)

 静止画として現在のイメージを保存するために、スナップショットのアイコンをタップして、デバイスフォルダ保存できます。